

## 「三重県 心のノート」活用事例

校種	小学校	学年	6年	内容項目	1 - (2)
主題名	目標に向かって生きる				
資料名	たゆまぬ努力で困難をのりこえる 本居宣長 「三重県 心のノート 小学校5・6年」(三重県教育委員会)				
ねらい	より高い目標を立て、希望と勇気を持ってくじけないで努力することの大切さを知る。				
展開	学習活動と主な発問		指導上の要点		
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 本居宣長について知っていることをあげる。</li> <li>2 古事記について知っていることをあげる。</li> <li>3 本居宣長が、35年間をかけて「古事記」の解説に立ち向かったことを知り、その理由について考える。</li> <li>4 本居宣長という人物について自分たちが思うことを発表する。</li> <li>5 自分たちのこれまでの生活を振り返り、自分が立てた目標とやりとげた経験について発表する。</li> <li>6 夢や目標を達成するためには何が必要か考える。</li> </ol>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまでの社会科の学習を振り返り、知っていることをあげさせる。</li> <li>・ 「三重県 心のノート」を資料として活用し、本居宣長を紹介する。</li> <li>・ 自分たちの今までの生活を見つめなおす活動をさせる。</li> <li>・ 自分たちの夢や目標をあげ、達成するには具体的にどのようなことをしていけばよいか考えさせる。</li> </ul>		
他の教育活動との関連	6年生社会科 (町人文化と新しい学問)				

成果と  
課題

社会科で学習していたことで、「本居宣長→国学者、古事記伝」という振り返りがすぐにできた。研究での疲れをいやすため、鈴の音を楽しんだことも記憶にあった。自分たちが住んでいる地域の近くである松阪出身ということで非常に身近に感じることができた。

「古事記伝」を完成させるために35年の年月をかけたことを知ったとき、子どもたちは驚きとともに尊敬の言葉を発していた。ひとつの目標を達成させるために、たゆまぬ努力をしていくことの大切さを感じたようである。

「夢や目標を達成するためには何が必要か考える」という学習場面では、具体的に夢や目標を持っている子は考えがすぐに出てきた。しかし、未だ具体的に夢や目標を持っていない子は、なかなか考えが出てこなかった。

何よりもこの学習がこれからの自分自身の生き方に反映していけることが重要である。今、具体的に何か出てこなくても、やりたいということが出てきたとき、それに向かって努力できる姿勢を育んでいけるよう今後もこのような学習を繰り返し行っていきたい。